

サンプル採取記録(見本)

鑑定の種類・登録番号	親子鑑定 SO-00000		
	母	子	擬父
被鑑定者登録番号	SO-00000-10	SO-00000-20	SO-00000-30
氏名・性別	●● ●●	○○ ○○ (男)	▲▲ ▲▲
生年月日	1972年6月21日	2001年12月7日	1970年4月27日
本人証明資料	健康保険証	母子健康手帳	運転免許証
サンプル種類	口腔粘膜細胞	口腔粘膜細胞	口腔粘膜細胞
採取年月日	2002年8月16日	2002年8月16日	2002年8月16日
採取時刻	13 : 30	13 : 32	13 : 35
採取場所	■■ 家庭裁判所		
3ヶ月以内輸血歴 骨髄移植/DNA鑑定 経験の有無	無 有	無 有	無 有
有の場合の実施時期			
関連図	<p style="text-align: right; color: red; font-size: 24px;">見本</p>		

サンプル採取者(所属)	◎◎ ◎◎ (ソリューション株式会社鑑定代理人)
-------------	--------------------------

	母	子	擬父
サンプル提供者の署名 <small>(子が18歳未満の場合保護者の署名)</small>	署 名	署 名	署 名
サンプル提供者の拇印 <small>(子が5歳未満の場合保護者の拇印)</small>	拇 印	拇 印	拇 印

■ サンプル採取当日に撮影された写真写しを別紙に添付

■ 想定される父母の一方がサンプルを提供できない場合の理由 _____

別添のDNA鑑定は、上記の通り、面談方式にて採取したサンプルを用いて実施されたものであることを証明します。

年 月 日

東京都江戸川区西葛西3-15-8
ソリューション株式会社
代表取締役 ○○ ○○

代表者印

母 子 擬父

各被鑑定者(18才以上)の署名・拇印

*サンプル採取当日、採取場所にて撮影された本人確認写真のコピーを添付

鑑定書の見方

DNA鑑定報告書

(見本)

(PCR法によるDNA親子鑑定)

報告書作成日 2002/8/23

DDCは、FQS-International, ISO/IEC-17025, AABB, CAP, CLIA, NYSDOH, 及び ASCLD/LAB-International より認証または認定を受けています。※

Case	2456	母	子	擬父	
氏名		●●●●	○○○○	▲▲▲▲	
登録№		SO-00000-10	SO-00000-20	SO-00000-30	
生年月日 - 人種		1972/6/21 アジア人	2001/12/7	1970/4/27 アジア人	
サンプル採取日		2002年08月16日	2002年08月16日	2002年08月16日	
Test No.		02456-10	02456-20	02456-30	
Locus	PI	Allele Sizes	Allele Sizes	Allele Sizes	
ローカス(Locus) 名称	D3S1358	3.20	12 13	13 14	14
検査したDNA箇所(染色体・セグメント)を表示。通常9~15箇所を検査	THO1	2.10	29 30	28 30	28 30
父性指数(PI)	D21S11	3.02	9 11	10 11	10
擬父が子の父である可能性と一般集団男性が子の父である可能性の比を数値化	D18S51	2.04	11 12	11 12	12
肯定の場合、検査したすべてのローカス(箇所)において擬父と子のアレルサイズが一致し、PI(父性指数)がすべて実数(0.00以外)にて示されます。	Penta E	1.63	17	16 17	15 16
完全否定の場合、必ず3ローカス以上において擬父と子のアレルサイズが一致せず、PIは0.00と示されます。(生物学上の父であればそのような現象は突然変異を除いて起り得ません。)また、偶然の一致によりPIが実数で示されるその他ローカスが現れることも一般的にあります。	D5S818	2.92	7 9	8 9	8 9
	D13S317	1.10	11 13	12 13	11 12
	D7S820	1.57	11 12	11 (両親から同じ型を受け継ぐ)	11 12
	D16S539	3.57	22 23	21 22	21 22
	CSFIPO	7.98	12 15.2	12 15	13 15
	Penta D	7.50	13 15	13 14	14 16
	WVA	1.45	8 11	8 (両親から同じ型を受け継ぐ)	8 11
	D8S1179	3.22	12 15	12 17	17 19
	TPOX	4.15	11 12	12 13	13
	FGA	2.90	22	22 24	24 27
	Amelogenin		X	X Y	X Y
解説文(鑑定主文)	解説(鑑定主文)		総合父性指数	4,085,747	
肯定の場合'擬父は子の生物学上の父である可能性から排除されない'と表記されます。(統計学に基づく排除法によるものです。)			父性確率	99.99998%	
完全否定の場合'擬父は子の生物学上の父である可能性から排除される'と表記されます。またその理由(遺伝マーカーの欠乏)と、起因となるDNAローカス(箇所)が明記されます。	<p>擬父、▲▲▲▲は、子、○○○○の生物学上の父である可能性から排除されない。上記に記載された15の異なるDNAローカスから得られた父性確率は、99.99998%である。この父性確率は、アジア人種の未検査無作為一般集団との比較の上で算出された。(検査前の確率を0.5と推定)(上記結果より、擬父▲▲▲▲は子○○○○の生物学上の父であると極めて強く推定できる。)</p>				

Allele Sizes
アレル(対立遺伝子)サイズ
すべてのローカスで両親から必ず各1つずつ受け継がれる

各ローカスごとに生物学上の親から受け継がれた型(数値)を2つ表示

両親から偶然同じ型を受け継いでいれば、1つの型(数値)のみ表示

各数値は塩基の反復回数単位を示す(通常整数で示されますが、稀にDNA中の欠損により小数で示される場合があります。)

11(一例)
母から子に受け継がれたアレルサイズ(遺伝子型)

15(一例)
生物学上の父から子に受け継がれた、または受け継がれるはずのアレルサイズ(遺伝子型)
表示のアレルサイズは一例であり、各ローカスには、それぞれ数~数十種類の配列パターンが存在します

XまたはY(記載のない場合があります)
性染色体
XはX染色体、YはY染色体を示す(性染色体表記の保証はいたしかねます)

RN:(レポートナンバー)
管理番号で鑑定結果等に関係ありません

総合父性指数(CPI)
個々のローカス(箇所)で算出した父性指数をすべて掛け合わせた数値(算出過程での端数切り捨て処理により、CPIは若干低めの数値で表れます)

父性確率
総合父性指数に基づき計算された擬父が生物学上の父である確率
肯定の場合、99.0%以上の父性確率
否定の場合、0%の父性確率(完全否定)

父性確率算出式(%) =
[1/(1+総合父性指数の逆数)] × 100

2002年8月23日鑑定人が署名し、宣誓したことを証明する。

この結果解説は報告された通りで間違いなく、上記鑑定はAABBによって規定されたDNA鑑定ガイドラインに沿って行われたものであることを証明します。

オハイオ州公証人登録署名及び刻印
オハイオ州公証人 ○○○○

..... 登録署名

※ FQS-International (科学的犯罪検査管理局), ISO/IEC-17025(国際標準化機構), AABB(米国血液銀行協会), CAP(米国病理医師会), CLIA(臨床検査機関改善修正条項), NYSDOH(NY州保健局), ASCLD/LAB-International(米国犯罪検査機関理事組合/研究機関認可委員会)

この「鑑定書の見方」は、鑑定を受けた方々にご理解いただけるよう作成したもので、用語等を専門的に記述したものではありません。また、最も一般的な**父子鑑定ガイドライン鑑定書(日本語訳)に基づいて作成しています**。ご了承下さい。鑑定書に添付されている解説書(DNA鑑定の方法、鑑定結果の解説)とあわせてご参照下さい。